

私たちのこれからのもちづくり。



海自呉地方総監部第一庁舎(夕景)

「旧軍港」の歴史を活かした文化と観光のあり方を考える。

2025年12月7日(日) 新日本造機ホール

第1部(研究発表)

9:00-12:00

「理系で読み解く日本遺産」をテーマに

旧軍遺産の最新の調査・研究の成果をお伝えします

第2部(シンポジウム)

13:00-16:00

鎮守府日本遺産のストーリーを核とする

各市の取組や今後の展望について話し合います

登壇者

1. 基調講演

戸高一成氏(呉市海事歴史科学館〈大和ミュージアム〉館長)

2. 事例紹介

大之木小兵衛氏(株式会社大之木ダイモ代表取締役社長)

高田真氏(アーキワーク広島代表)

3. パネル

コーディネーター: 丁野朗氏(日本観光振興協会総合研究所顧問)

ディスカッション

パネラー: 横須賀市, 呉市, 佐世保市, 舞鶴市の文化観光担当職員



プログラム等
詳細はこちら

参加費: 無料、先着200名(事前申込制)

問合せ先: 呉市文化振興課

Tel: 0823-25-3462 Mail: bunsin@city.kure.lg.jp

主催: 旧軍港市日本遺産活用推進協議会



鎮守府日本遺産シンポジウム in 呉

▼旧軍港四市



入船山記念館 (旧呉鎮守府司令長官官舎洋館客室)



世界三大記念艦「三笠」



舞鶴赤れんがパーク



旧佐世保無線電信所 (針尾送信所)

トークテーマ

日本遺産鎮守府のストーリーを活かした 文化観光事業の今後の展望

「日本遺産創設 10 年」の節目の年に、文化庁により「重点支援地域」に選定された鎮守府日本遺産のストーリー。

旧軍港四市 (横須賀・呉・佐世保・舞鶴) の旧軍遺産を研究する研究者による取組紹介と文化観光の現場の目線から、今後鎮守府日本遺産のストーリーを核とする施策がどのように展開していくのか各市の展望について意見交換を行います。

日本遺産「鎮守府」ってなんだろう？

明治期の日本は、近代国家として西欧諸国と対等に渡り合うための海防力を備えることが急務でした。

そのため、国家のプロジェクトとして天然の良港を四つ選び、築いたのが海軍のための港「軍港」です。

選ばれたのはいずれも静かな農漁村。そこに人と先端的な技術をあつめ、海軍が運営する機関と一緒に水道や、鉄道などのインフラを整備することで、日本の近代化を象徴する四つのまちが誕生したのです。

百年を超えた今も現役で使用している施設も数多く残っているのが、旧軍港四市の魅力です。時代の先端を走り、躍動した往時の姿を残すまち並みは、どこか懐かしく、今も訪れる多くの人を惹きつけます。

日時：令和 7 年 12 月 7 日 (日)

第 1 部 (研究発表)
9:00 - 12:00

「理系で読み解く日本遺産」をテーマに
旧軍遺産の最新の
調査・研究の成果をお伝えします

第 2 部 (シンポジウム)
13:00 - 16:00

鎮守府日本遺産のストーリーを核とする
各市の取組や今後の
展望について話し合います

場所：新日本造機ホール (呉市中央 4-1-6)
ご利用時は市役所駐車場をご利用下さい (有料)

参加費：無料 (事前申込制)

問合せ先：呉市文化振興課
Tel: 0823-25-3462 Mail: bunsin@city.kure.lg.jp

主催：旧軍港市日本遺産活用推進協議会



プログラム等
詳細はこちら



お申し込み